

施設における不在者投票

記者：川端

参議院選挙不在者投票を、7月20日に当施設で行いました。

【不在者投票の流れ】

- ① **ご利用者の投票意思確認** 確認ミスがないように、相談員2人が立ち会い、意志の確認を行います
- ② **投票用紙の代理請求** 投票希望される本人の現住所への選挙区へ手続きを行います
- ③ **不在者投票の実施** 実施後速やかに各区の選挙管理委員会へ投票用紙を届けます

【不在者投票当日の様子】

投票管理者（施設長）、投票立会人（選挙管理委員会にて選任された外部の方）、投票補助者（職員）が立ち会い、投票を実施します。

投票立会人は、常盤台北部自治会の橋本会長にお願いしました。



昨年も立会人をやらせて頂きましたが、2回目ということもあり、職員の皆さんもてきぱきとスムーズに進行していたと思います。

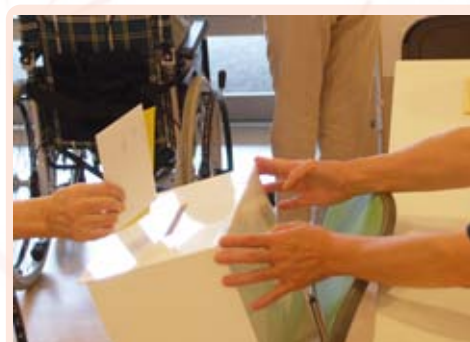
投票希望者：36名
投票された方：32名
棄権された方：4名



① 受付にて再度意志の確認を行い希望される場合は投票用紙を渡す



② 記載台で記入し、ご自身で記入ができない場合は不正がないように職員二人で立ち会い記入のお手伝いをする



③ 記入後、投票用紙を所定の封筒に入れ、投票箱に投函

【なるほど Q&A】

Q：不在者投票所では家族の立ち会いは可能ですか？

A：あくまで本人の投票であり、通常の投票所と同様、ご遠慮頂いております。

Q：当日の棄権等で記入の無かった投票用紙はどうなりますか？

A：白票のまま各区の選挙管理委員会へ返還します。

【事務よりお知らせ】

8月は横浜市長選挙を予定しています。ご本人で投票所へ行かれる場合や、期日前投票される場合は2重請求となってしまうため、投票前に申し出て頂くよう、お願い致します。



チームで挑んだ!

『第12回かながわ高齢者福祉研究大会!』

平成25年7月10日(水)に、「第12回かながわ高齢者福祉研究大会」が行われ、その大会にチーム常盤台として挑み、3つのテーマについて研究内容を発表致しました。

「え?これって人権侵害なの?」 発表者：藤原舞・野藤太一

“職員の言葉づかい”に着目し、より質の高いリスペクトケアを目指すため、施設内研修やアンケート、啓発活動等を実施したという内容での発表。発表が終わると会場からたくさんの拍手を頂き、とても感激でした。



「最期までその人らしく」 発表者：佐藤係長・川野看護係長・廣瀬主任・冨樫主任

終の棲家としてその方の“思い”を尊重し、またご家族様のニーズにも応えて行く看取りケアについての発表。

実例を交えながらの発表の終盤では、ハンカチを用意されるお客様もいらっしゃいました。



「レベル1からの介護職員育成2ヶ年計画」 発表者：外池副施設長・奥村事務係長

入職した職員に対してどのような新人研修を実施しているのか、また研修プログラム“虎の穴大作戦”とは? 発表後質問や内容についての問い合わせが続々と!

来年はどんなテーマに挑むのか……?
チーム常盤台の挑戦は続きます。



記者：馬場

地域の方々のための

熱中症予防シェルター

Café Marché 開店

平年よりも早い梅雨明けとなり、いよいよ夏本番となりました。連日の猛暑で、室内に居ても熱中症になる心配があります。そこで、当施設を日中の最も暑い時間帯に“熱中症避難所(シェルター)”として開放いたします。

お弁当などのお持込も結構です。
足を伸ばしたり、横になれるスペースもご用意しました。
ご高齢の方から、小さなお子様まで、
どなたでもご利用いただけます。
どうぞ遠慮なく、当施設をご活用下さい。



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
まだまだ日照りの厳しい日が続きますが、熱中症・夏風邪には充分お気を付けてお過ごしくださいませ!

レジデンシャル常盤台 広報委員会